

令和 5 年度 基礎生物学研究所「メダカ」バイオリソース運営委員会（第 1 回）
議事要旨

日時：令和 5 年 12 月 19 日（火）14 時 30 分～16 時 00 分

場所：各自の研究室等（zoom による web 会議）

出席者

＜委員＞

木下[委員長]（京都大学）、成瀬[副委員長]（基生研）、松田（宇都宮大）、工樂（遺伝研）、橋口（宮崎大）、高田（基生研）、東島（基生研）、亀井（基生研）、田中（名古屋大）、吉村（名古屋大）、竹内（東北大）、尾田（東京大）、川本（遺伝研）、出口（産総研）、竹花（長浜バイオ大）、荻野（広島大）、荻野（九州大）

＜オブザーバー＞

阿形（基生研所長）、井口（横浜市大）、山平（琉球大）、村田（カリフォルニア大デービス校）、安齋（京都大）、笹倉（筑波大）、岩波（宇都宮大）、四宮（基生研）

＜陪席者＞

前田（文科省ライフサイエンス課）

小幡（NBRP PO/理化学研）

鈴木（NBRP 事務局）、向井（NBRP 広報室）

深尾、漆原、増本、磯貝（岡崎統合事務センター）

鈴木（基生研）

1. 基礎生物学研究所長及び運営委員会委員長挨拶

議事に先立ち、阿形基生研所長及び木下委員長から挨拶があった。

2. 報告事項

(1) 第 5 期 NBRP 令和 5 年度活動報告について

①中核機関（基礎生物学研究所）について

成瀬委員から、資料 1-1、資料 1-2 及び資料 1-3 に基づき、基礎生物学研究所における令和 5 年度活動状況（収集・保存・提供、広報・アウトリーチ活動及び収支状況等）について報告があった。

②分担機関（宇都宮大学）について

松田委員から、資料 2 に基づき、宇都宮大学における令和 5 年度活動状況（収集・保存・提供及び収支状況等）について報告があった。

③分担機関（宮崎大学）について

橋口委員から、資料 3 に基づき、宮崎大学における令和 5 年度活動状況（保存状況及び収支状況等）について報告があった。

④分担機関（国立遺伝学研究所）について

工樂委員から、資料 4 に基づき、国立遺伝学研究所における令和 5 年度活動状況（リソース情報提供体制の構築及び収支状況等）について報告があった。

(2) ゲノム情報等整備活動報告について

松田委員及び安齋オブザーバーから、資料 5 に基づき、ゲノム情報等整備事業「メダカ野生由来系統のゲノム多型情報整備」（令和 4 年度採択課題）における

令和 5 年度活動状況（事業の進捗状況及び収支状況等）について報告があった。

続いて、成瀬委員から、資料 6 に基づき、ゲノム情報等整備事業「表現型可塑性を探索するメダカゲノム基盤の整備」（令和 5 年度採択課題）における令和 5 年度活動状況（事業の進捗状況及び収支状況等）について報告があった。

3. 審議事項

(1) 第 5 期 NBRP 令和 6 年度事業計画 について

①中核機関（基礎生物学研究所）について

成瀬委員から、資料 7 に基づき、令和 6 年度における基礎生物学研究所の活動計画について説明があり、審議の結果、これを承認した。

②分担機関（宇都宮大学）について

松田委員から、資料 8 に基づき、令和 6 年度における宇都宮大学の活動計画について説明があり、審議の結果、これを承認した。

③分担機関（宮崎大学）について

橋口委員から、資料 9 に基づき、令和 6 年度における宮崎大学の活動計画について説明があり、審議の結果、これを承認した。

④分担機関（国立遺伝学研究所）について

工樂委員から、資料 10 に基づき、令和 6 年度における国立遺伝学研究所の活動計画について説明があり、審議の結果、これを承認した。

(2) 第 5 期「メダカ」バイオリソース運営委員会委員（令和 6・7 年度）の候補者について

成瀬委員から、資料 11 に基づき、令和 6・7 年度「メダカ」バイオリソース運営委員会の委員候補者等の選任について提案があり、審議の結果、これを承認した。

(3) 第 5 期の令和 7・8 年度の運営体制について

成瀬委員から、資料 12 に基づき、第 6 期からは基礎生物学研究所におけるメダカリソースの収集・保存・提供が困難になることを受け、新しい体制を整備する必要があることについて説明があり、昨年度（令和 4 年度）の「メダカ」バイオリソース運営委員会における議論等を踏まえた上で、第 5 期の 4・5 年目（令和 7・8 年度）においては、1) NBRP メダカ事業の分担機関として新たに長浜バイオ大学（課題管理者：竹花委員）を加えること、2) 基礎生物学研究所が行う活動を長浜バイオ大学に移管しながら、基礎生物学研究所と長浜バイオ大学が共同で事業を推進することについて提案があった。また、本審議事項について「メダカ」バイオリソース運営委員会の承認が得られた場合には、本提案内容に基づき、阿形基生研所長との相談及び NBRP の PD/PO との調整を行い、かつ、基礎生物学研究所教授会議の承認を得た上で、来年度（令和 6 年度）の NBRP 中間評価時において、長浜バイオ大学を分担機関として新たに追加する内容の変更申請書を提出することを予定している旨、あわせて説明があった。

木下委員長から、1) 本提案内容については以前から「メダカ」バイオリソース運営委員会でも議論している内容であること、2) 第 6 期 NBRP 事業自体がまだ確定していないが、新しい体制への移行は急には対応できないため、現時点から順次準備を進めていく必要があること、3) 仮に第 6 期 NBRP 事業においてメダカ事業が継続しなかったとしても、メダカコミュニティとして、メダカリソースの新しい体制への移行方法を探っていく必要があること、等の補足説明があった。

次いで、小幡 PO から、1) 最も大事なものは、コミュニティが新しい体制をサポートをするということ、すなわち、実施機関だけで結論を出すだけではなく、「メダカ」バイオリソース運営委員会の賛同及び利用者の理解と協力を得ることである、2) 新たに参画予定の長浜バイオ大学については、機関側のサポートについても担保していただきたい、との発言があった。

これを受け、竹花委員から、長浜バイオ大学の NBRP 事業への参画については、長浜バイオ大学の教授会等の意思決定の場で公に認められており、機関としても積極的なサポートをする体制で動いていただいている旨、説明があった。

また、木下委員長から、利用者の理解と協力を得るという点については、「4. その他」において報告予定の「将来計画委員会 WG の活動について」ともつながると思う、との補足説明があった。

次いで、阿形基生研所長から、コミュニティ全体で長浜バイオ大学への移管をサポートいただくことで、年間 700 件近くのリクエストがある状態を維持し、さらに新しいメダカユーザーがインターナショナルに拡大することを期待している、との発言があった。

これらの意見交換の後、審議を行い、本提案内容を承認した。

4. その他

将来計画委員会 WG の活動について

成瀬委員から、資料 13 に基づき、令和 5 年度における将来計画委員会 WG の活動状況（Medaka NBRP Seminar の開催状況等）について報告があり、あわせて、木下委員長から、Medaka NBRP Seminar 開催後に参加者との意見交換を進めることで、広くユーザーの意見を募っているとの補足説明があった後、種々意見交換を行った。

まず、竹内委員から、第 6 期以降の運営体制について、「メダカ」バイオリソース運営委員会メンバーからの意見も伺いたいとして、参加可能な委員については、本運営委員会終了後の座談会にも引き続き参加いただきたい旨、提案があった。

次いで、出口委員から、Medaka NBRP Seminar について、1) 単なるサイエンティフィックなセミナーのように受け取られてしまうため、第 6 期の運営体制の検討に向けた活動の一環なのであれば、それをアピールするようなテーマ設定を行い、コミュニティに通知する必要があるのではないか、2) 今までにユーザーから募った意見についても資料に記載いただいた方が良いのではないか、との発言があった。

次いで、亀井委員から、長期的・継続的な活動とするため、また、若い方の声を集めるためにも、自由に動ける、より若い方にも将来計画委員会 WG のメンバーとして加わっていただいた方が良いのではないか、との発言があった。

以 上